

# 九品仏地区 社協だより



発行者：九品仏地区社会福祉協議会  
事務局：社会福祉協議会 九品仏地区事務局  
世田谷区奥沢 7-35-4  
九品仏まちづくりセンター内  
☎070-3946-9797  
<https://www.setagayashakyo.or.jp>

歳末たすけあい・地域支えあい募金

師走の声を聞くと、歳末たすけあい・地域支えあい募金の活動が始まります。

明治時代に貧困家庭を慰問激励しようと募金運動がはじまり、その後の時代にまで引き継がれてきました。

世田谷区はたすけあいの意識が根づいており、全国的にみても募金総額が飛び抜けて高い地域です。

また募金を活用して高齢者や子育て世帯が交流する『ふれあい・いきいきサロン』の活動が活発に行われています。

近年、コロナ禍により住んでいる地域に一層関心が寄せられるようになりました。

新しい年を迎えるにあたり、地域のたすけあいのため、募金にご協力いただくと幸いです。

すでにご協力いただいている方も大勢いらっしゃいますが、どこで募金したらいいと思われる方は下記までご連絡をお願いいたします。 **お問い合わせ：070-3946-9797 (社会福祉協議会 九品仏地区事務局)**

## 11月8日 九品仏小学校 福祉体験授業

4年生 51名が参加した社協の出前授業を取材しました。

**高齢者疑似体験**では担任の先生がモデルとなり、重りの入ったベストやゴーグルなど疑似高齢者用の装具を装着。

「よく見えない、怖い、立ち上がれるかな」先生のつぶやきに、脇からサッと子どもの手が差し出されて驚き感心しました。

子どもたちも、高齢者役・サポート役の二人一組となり順番に体験学習が始まりました。装具が体格に合わない子もいて、補助の大人が四苦八苦する場面もありましたが、装具をつけふにゃふにゃするマットの上を歩いたり、転がったり、コーンの間に渡した紐をまたぎ、杖をついて廊下を歩き教室に戻ります。装具を外した途端に聞こえたのは「かるくなったあ」の声です。

### 振り返りの子どもたちの声から

「(それまでできたことが)だんだんできなくなる」「聞こえなくなった」「周りの支えが大切」「立つとき足に力が入らなくて大変」「倒れて起き上がる時大変だな」「思ったよりひじが曲がらなかつた。年をとったら膝が動きにくくなるんだろうな」



**白杖体験**では、視野の狭い人・明るさだけはわかる人など視覚障害にも色々あることや、白杖の持ち方と使い方の説明を受けます。介助とは、がっちり腕を組むのではなく、優しく腕や肩を貸すこと。そして状況をわかるように説明してから動き出すこと。方向を示す方法にクロックポジション(〇〇時の方向)もあるなどの説明を受けてから2人一組で進みます。

目隠して、白杖を手に歩く子はおそろおそろ、介助役は様々で的確にガイドするのは難しそうです。

出番を待つ子どもたちは、点字ブロックの意味やピン缶などの点字や形状の違いからユニバーサルデザインを学びます。

### 振り返りの子どもたちの声から

「怖かった」「どこに行くのかわからない」「言葉で説明するのは難しい」「案内が上手くできなくてトラブルになったら…と思った」

### 先生から

「そこから何を考えてほしいか」「お年寄り全員が同じじゃない、



筆者(本物の高齢者)の感想 子どもたちが思案しながら頑張る姿は頼もしく微笑ましくもありました。☺

実施に当たっては、学校支援コーディネーターが、日程など学校と社協との調整役を担い、当日は社協職員・地域福祉推進員だけでなく、あんしんすこやかセンター職員や九品仏小学校担当の青少年委員、そして保護者の方々など総勢20名が関わりました。

## 傾聴講座 ～講座に参加してコミュニケーション力をUP!!～

家族や友人と話していて、そんな言い方しなくても… 思わず言い返したり！上手く思いが伝わらないそんな時のため「聴き上手」になり、心が通う話の聞き方をお伝えいたします。

日時：12月3日(土) 10～12:00 会場：九品仏まちづくりセンター 活動フロアー  
講師：九品仏地区在住 心理カウンセラー 定員：先着15名 参加費無料  
参加申込み：070-3946-9797 (社協 九品仏地区事務局 河本・川西)